

# 視察（研修）報告書

令和4年8月8日

府中市議会議長 様

会派名又は

議員名 岡田 隆行

日 時	令和4年8月2日（火）10:00～12:30
視察（研修）先	リファレンス駅東ビル（福岡市博多区駅東1丁目16-14）
視察（研修）項目	財政状況資料集 Part2
参加者	岡田隆行
視察（研修）内容	<p>「各自治体の財政比較分析表を解説する」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・各財政指標の類似団体内順位・県内順位と経年変化をみていく。</li><li>・各財政指標を見て、自分の自治体（府中市）の財政的特徴を掴む。</li><li>・各財政指標の分析欄を読み解く。</li><li>・分析欄で書かれている内容を理解し、そこで示されている課題が適切かどうかを判断する。</li></ul>
所 感	<ul style="list-style-type: none"><li>・自治体の黒字には2種類ある。歳出より歳入が多いことからくる普通の黒字もあるが、基金等の取り崩しによる黒字のケースもあることに注意してみていく必要がある。財政破綻の前には基金が無くなる。自治体の正式な黒字・赤字は実質収支で判定することが大切。</li><li>・各自治体が保有する財政調整基金について残高の標準財政規模に対する割合は一般的には10～20%と言われる。講師の示されたデータによれば平成29年度末を見た場合、20%以上は全体1,643団体中994団体。約6割である。</li><li>・有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）についてはしっかり見ていく必要があることが分かった。この指数が高いほど、資産の老朽化が進んでいるため、今後の更新時期と更新費に注意する必要がある。行政目的別や施設別にも算出が可能である。</li></ul>

# 視察（研修）報告書

令和4年8月8日

府中市議会議長 様

会派名又は

議員名 岡田 隆行

日 時	令和4年8月2日（火）14:00～16:30
視察（研修）先	リファレンス駅東ビル（福岡市博多区駅東1丁目16-14）
視察（研修）項目	財政状況資料を使ってできる財政質疑のポイント
参加者	岡田隆行
視察（研修）内容	<p>「コロナ禍による自治体財政への影響」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地方税制の減少や緊急かつ大規模な財政支出、国庫支出金（補助金）を通じた自治体財政の強力な誘導などから、コロナ禍による自治体財政の変化を把握し、今後の自治体運営について考える。</li></ul>
所 感	<ul style="list-style-type: none"><li>・令和2年度の市町村決算の概況を見る中で、歳入増の要因としては、やはり新型コロナウイルス感染症対策に係る補助事業の増などによる国庫支出金の増加がある。加えて配布資料から読み取ると地方交付税交付金の増加等による各種交付金の増加が分かる。また、制度融資の増等による貸付金元利収入の増加もある。減要因としては法人市町村民税の減等による地方税の減少があることが分かった。</li><li>・令和4年度の国予算を元にした自治体の重要課題も資料並びに説明から分かった。「地域社会のデジタル化の推進」「公共施設の脱炭素化の取組等の推進」さらには「消防・防災力の一層の強化」「まち・ひと・しごと創生事業費の確保」などに力を入れている。「地域社会のデジタル化の推進」においては、不利地域等におけるデジタル技術を活用したサービスの高度化の取組に大いに興味を引かれた。</li><li>・脱炭素化において府中市はLED化が遅れている。</li><li>・公立病院経営強化も待ったなしの課題である。</li></ul>